



自然のエネルギーを利用して地球に優しい太陽光発電

太陽の光エネルギーを電気に変える「太陽電池」を使用した発電システムを、太陽光発電システムといいます。発電そのものには燃料が不要。運転中は温室効果ガスを排出しません。また、発電した電気が余れば電力会社に電気を売ることもでき、地球にも家計にも優しい発電システムです。

問い合わせは 環境課 ☎098-926922

太陽光発電に適したまち前橋

本市は年間の日照時間が長いという特性があります。気象庁のデータから各都道府県庁所在地の過去10年間の日照時間を比較すると、全国平均よりも約220時間も長い全国第4位。ほかの地域よりも多くの発電が見込まれ、太陽光発電に適したまちであるといえます。

太陽光発電導入を支援します

本市では住宅用太陽光発電システムを設置する個人に補助を行ってまいります。申請は来年2月27日(金)まで。対象は、来年3月31日(火)までに工事を完了し、実績報告書を提出できる人。なお、補助金を受けるには、工事着工前に申請・交付決定の手続きが必要です。必ず事前に問い合わせてください。長い日照時間を誇る前橋。この機会に太陽光発電を導入してみてもいいかもしれません。

市有施設にも積極的に導入

小中学校や公民館などの市有施設にも太陽光発電を導入しています。今後、施設改築・改修時に合わせて導入を進めます。

年間日照時間ランキング			
	都道府県名	区市町村名	年間平均日照時間
第1位	山梨県	甲府市	2,194.5 時間
第2位	高知県	高知市	2,155.1 時間
第3位	宮崎県	宮崎市	2,118.9 時間
第4位	群馬県	前橋市	2,109.4 時間
第5位	静岡県	静岡市	2,099.8 時間
	全国平均		1,887.6 時間

※出典：気象庁ホームページ「過去の気象データ検索」より
 ※各都道府県庁所在地を含む観測地点(気象庁)で観測された過去10年間の平均日照時間を比較

太陽光発電を導入した主な施設		
施設名	出力	導入時期
宮城中	40kW	平成14年2月
総合福祉会館	3kW	平成14年6月
大胡東小	10kW	平成16年4月
東消防署宮城分署	4kW	平成19年3月
元総社公民館	10kW	平成20年3月
前橋プラザ元気21	10kW	平成20年3月

実際の効果はどのくらい?

太陽光発電システムを設置した人からの報告結果を基に、システム導入による発電量やCO₂削減の効果を分析しました。

	1kWあたりの発電量発電実績(年間)	1kWあたりのCO ₂ 削減効果(年間)	太陽光発電システム(3.5kW)を導入した場合の予想(年間)
太陽光発電システム設置	約1,150kW時	約380kg	発電量=約4,025kW時 CO ₂ 削減効果=約1,330kg
平均的な一般家庭との比較	平均的な一般家庭の年間消費電力量=3,600kW時 ※1	平均的な一般家庭の年間CO ₂ 排出量=5,900kg ※2	例えば3.5kWの太陽光発電システムを設置した場合、平均的な一般家庭の電力をほぼ賄うことができ、さらにCO ₂ 排出削減が見込まれます。

※1出典：新エネルギー財団ホームページ「もっと知りたい身近な新エネ/太陽光発電」
 ※2出典：環境省パンフレット「一人ひとりの地球温暖化対策」

市民生活・生命・環境をテーマに前橋工科大で12の公開講座

前橋工科大で公開講座を開催。すべての講座に出席した人に修了証を交付します。

日時・講師・対象=下表のとおり

会場=前橋プラザ元気21(11月8日(土)は前橋工科大)

対象=一般、先着各80人

申し込み=各講座開催日の8日前までにEメール(chicken@city.maebashi.gunma.jp)またはハガキで。希望講座番号・住所・氏名・電話番号を明記し、〒371-0816上佐鳥町460-1・前橋工科大「公開講座係」(☎265-0111)へ



講座番号	期日	時間	テーマ	コーディネーター	講師
1	10月25日(土)	午後1時30分~3時	住宅購入の基礎知識	前橋工科大准教授 古賀紀江	明海大学教授 齊藤広子 さん
2		午後3時15分~4時45分	安心・満足なリフォームを!		住宅リフォーム・紛争処理支援センター 松本俊哉 さん
3	11月1日(土)	午後1時30分~3時	健康な住まいの作り方 ~建築生物学(ハウビオロギー)が求めるもの	前橋工科大准教授 石川恒夫	前橋工科大准教授 石川恒夫
4		午後3時15分~4時45分	“見る”脳 ~緑内障のニューロサイエンス		前橋工科大教授 今村一之
5	11月8日(土)	午後1時30分~3時	バイオテクノロジー ~環境問題へのアプローチ	前橋工科大教授 池永 裕	前橋工科大教授 池永 裕
6		午後3時15分~4時45分	食の安全・安心を支える科学 ~市民の常識・研究者の非常識		前橋工科大教授 藤井智幸
7	11月15日(土)	午後1時30分~3時	地域コミュニティの再生 ~持続可能なまちづくりのために	前橋工科大教授 湯沢 昭	前橋工科大教授 湯沢 昭
8		午後3時15分~4時45分	大気中における地球温暖化ガスの挙動		前橋工科大教授 滝川哲夫
9	11月22日(土)	午後1時30分~3時	ホテルのみられる街づくり	前橋工科大准教授 梅津 剛	前橋工科大准教授 梅津 剛
10		午後3時15分~4時45分	省エネルギー住宅の作り方		前橋工科大准教授 関口正男
11	11月29日(土)	午後1時30分~3時	地球温暖化防止に向けた試み	前橋工科大教授 尾崎益雄	前橋工科大教授 尾崎益雄
12		午後3時15分~4時45分	地球温暖化の気候変動が水災害に及ぼす影響		前橋工科大教授 土屋十園

研究や情報を公開 産学連携フォーラム

産学連携フォーラムを開催。前橋工科大が行っている社会環境・建築・情報・医療福祉・生物などの工学分野について、研究紹介や情報交換会を通じ、企業と大学が連携した新産業や技術革新の可能性を探ります。

日時=10月15日(水)午後1時~5時

会場=前橋工科大

対象=企業関係者など

申し込み=10月14日(火)(必着)までにEメール(chizai@city.maebashi.gunma.jp)またはハガキで。交流を希望する研究分野・住所・氏名・電話番号を明記し、〒371-0816上佐鳥町460-1・前橋工科大「産学連携フォーラム係」(☎265-0111)へ

